



佐土原ロータリークラブ週報



SERVICE Above Self

超我の奉仕

2005-2006 年度R I テーマ
【新世代活動月間】

会 長：岩 切 正 司 幹 事：柳 田 光 寛
副 会 長：佐 藤 高 元 会報委員長：林 厚 雄
会 計：荒 武 義 博
事 務 局：〒880-0303 宮崎郡佐土原町東上那珂 10255
TEL：0985-30-5766 FAX：0985-30-5788
携 帯：090-2078-0483 齊藤美喜代
例 会 日：毎週水曜日
例 会 場：ハイビスカス ゴルフクラブ
TEL：0985-73-0109

第 900 回 平成 17 年 9 月 28 日 (水)

本日のプログラム

- 1. 点 鐘
- 2. ロータリーソング
「手に手つないで」
- 3. 四つのテストの唱和
- 4. 食 事 の 時 間
- 5. 会 長 の 時 間
- 6. 幹 事 報 告
- 7. 委 員 会 報 告
- 8. フ ォ ー ラ ム
「新世代月間にあたって」
- 9. 点 鐘

政府の要職にある塚村に西郷札の政府買い上げの件で運動してくれるように頼まれた。雄吾は季乃を介して塚村に会う。後日、塚村は「充分見込みがある」ので宮崎に行き、密かに西郷札を買い集めるように雄吾を促す。塚村の言葉を信じた雄吾らは買い占めに狂奔した。

しかし一切は、季乃と雄吾の間を嫉妬した塚村の陰謀であった。東京に帰った雄吾は詐欺の容疑者として手配されていた。雄吾は「最後の策」を決意するが……

以上

★ 幹事報告 柳田光寛 君

第 899 回の記録 平成 17 年 9 月 21 日

★ 会長の時間 会長 岩切正司 君

<私>の勤める新聞社で、ある展覧会を企画した。出品資料の中に西南戦争の際、薩軍が発行した軍票(紙幣)「西郷札」があった。その製造に関係した<日向佐土原土族・樋村雄吾>なる者が、明治12年に記した『覚書』を一読して、<私>は興味を惹かれた。

明治10年、雄吾は西郷隆盛率いる東上軍に身を投じた。田原坂の敗戦後、薩軍は宮崎まで敗退し、そこで西郷札を造幣した。負傷した雄吾は村人に助けられ九死に一生を得る。だが故郷に帰ると、父は死に家は戦火で焼かれていた。義妹の季乃の行方は知れなかった。

東京に出た雄吾は人力車を引く車夫になる。

ある夜偶然、雄吾の眼前に季乃が現れた。塚村圭太郎という男の妻になっていた。密かに二人は逢い続ける。そんなとき雄吾は幡生糸太郎という男に、

1. 例会変更 なし

2. カトリーナ・ハリケーン災害、義捐金の依頼が来ております。
募金目途 1人1,000円程度
締切日 10月25日(火)

★ 親睦委員会 吉田康一郎 君

歯車会のお知らせ
西都・高鍋・佐土原クラブの懇親を目的としたゴルフです。

現在3クラブ唯一の親睦の機会です、多く方の参加をお願い致します。

場所：ニューアイワゴルフ場
期日：10月7日(金)
時間：8:30分集合
会費：3,000円



★ 会員の責務 ロータリーの友資料より

クラブは、ロータリーの礎であり、有意義な多くの活動が実施されます。成果を挙げるクラブは、すべて、次の四つの特徴をもっています。

すなわち、会員数を維持、増加させる努力をしていること、自らの地域社会と他国の地域社会に恩恵を与える奉仕プロジェクトによく参加していること、資金拠出やプログラムへの参加を通じロータリー財団を支援していること、クラブレベルを超えてロータリーのために奉仕できる指導者を育成していることです。

ロータリアンがロータリーから何を求めるかは、およそロータリーのために何をしたかにかかっています。会員としての義務規定の多くは、ロータリーでの経験を十分に享受することを目的に設定されています。

【出席】

毎週、例会に出席することで、クラブでの親睦を深め、専門分野や個人的知識を豊かにすることができます。会員が例会に出席できない場合は、メイクアップすることによって世界中いづれの例会に出席し、温かく歓迎されることが保証され、ロータリーの視野を広げることが奨励されています。

例会の場所と時間については、公式名簿あるいはRI ホームページにあるクラブ会合の箇所を参照してください。

【奉仕】

毎週、例会に出席することは、クラブ奉仕プロジェクトに参加するという重要な責務を果たすこととなります。会員は、地元や国際的なプロジェクトに対するクラブのかかわりについて知り、自分の時間と能力を最も必要されているところで、自発的に奉仕活動にあたることができます。

【会員の勧誘と退会防止】

クラブの安定を保つために、すべてのロータリアンは、新しい会員を入会させるという責任を共有しています。

新会員であっても、例会にゲストを招いたり、奉仕プロジェクトに参加してもらうことができます。実際に親睦活動と奉仕活動を体験してもらうことは、ロータリーの価値をおのずと明らかにし、潜在的な会員の関心を引き起こす最善の方法となります。それゆえ、もう一つの責任

は、会員にロータリーへの関心を持ち続けてもらうこと。クラブの親睦活動と奉仕プロジェクトへの早期の関与が、クラブの会員数を維持するための最善策です。

「ロータリーのおかげで、世界をより良い場所にするという私の努力が数倍になりました。

私はもう一人ではありません。」

- フェルナンド・アグイレ・パロシオス、エクアドル

委員会組織図 (案)		中武幹雄君
会 長	会長	岩切正司
委員 長	幹事	柳田光寛
副委員 長	会計	荒武義博
	SAA	藤堂孝一
会員増強	奉仕プロジェクト	ロータリー財団
職業分類 会員選考 会員増強	職業奉仕 社会奉仕 国際奉仕 新世代	ロータリー財団 米山奨学 (GSE)
↓	↓	↓
梶田興之助 垂水敏雄 鬼塚圭司 谷口幸子 外山 与	宮原建樹 福井輝文 岩下廣美 村岡 博 永野陽子	後藤明夫 正岡文郁 濱田松太郎 郡司武俊 堀口英秋
クラブ広報委員会		クラブ管理委員会
広 報 会 報 ロータリー情報		クラブ奉仕 出 席 親 睦 プログラム
↓		↓
岩切徳夫 中武幹雄 林 厚雄 近藤 章 水浦達博		佐藤高元 太田 忍 吉田康一郎 山脇 忍 神宮寺利夫

出席状況 第 894 回 平成 17 年 8 月 31 日

会 員 数	27 名	欠 席 者 数	7 名
出 席 者 数	20 名	メークアップ	2 名
出 席 率	74 %	修正出席率	82 %

■ 四つのテスト

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか